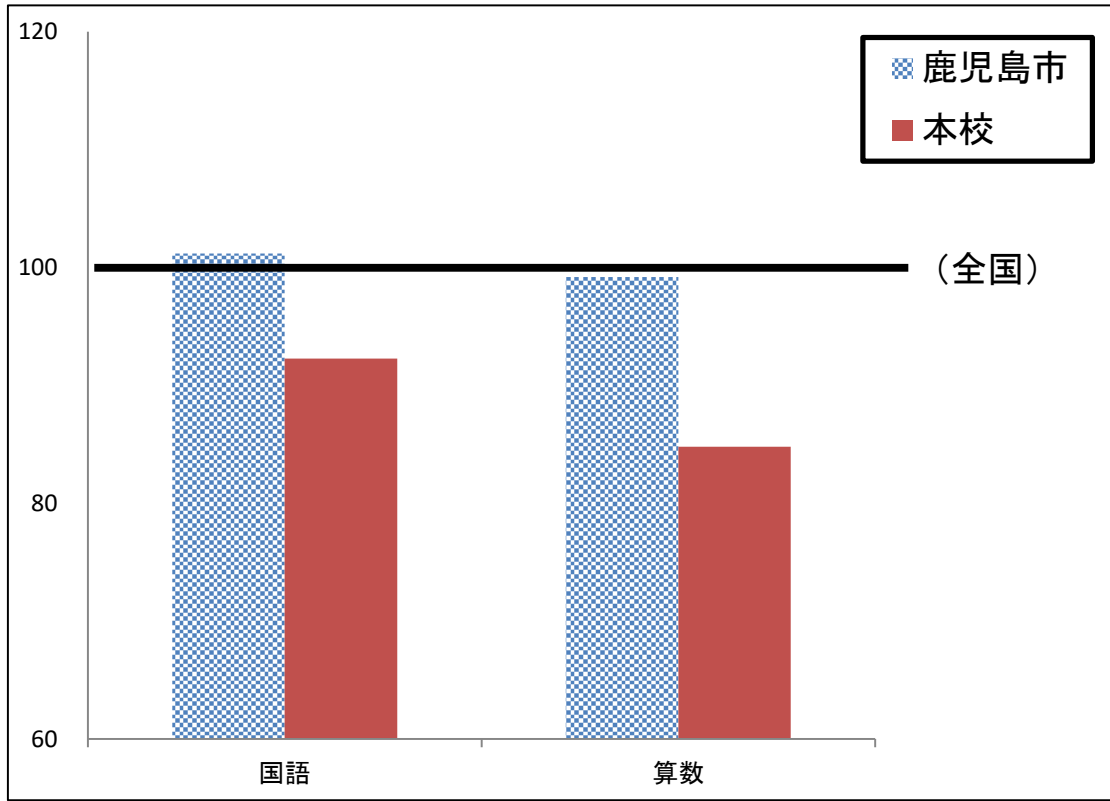


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

星峯東小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

1 概要(全体的な傾向)

- 国語: 全国及び県平均をどの領域も下回った。特に「書くこと」が課題である。
- 算数: 全国及び県平均をどの領域も下回った。特に「図形」「数と計算」が課題である。

2 成果や課題及び課題に対する改善策

〈国語〉

読み取ったことをもとに書く活動に課題が残りました。条件に合わせて必要な情報を取り出し、その情報を用いて要約する活動を苦手とする傾向がありました。

文図を用いて構造的に読み取る学習や、新聞を活用して日常的に短文づくりをしたり記事に対する自分の考えを条件に合わせてまとめたりする学習に、年間を通じて計画的に取り組んでまいります。

〈算数〉

基本的な内容については、十分な定着が見られましたが、応用的な問題に関する理解や考え方、解答を導くために必要なポイントに気付くこと等に課題が残りました。

問題文からキーワードを読み取る指導や、児童が主体的に取り組む授業の充実(解に辿り着く過程を大切に、意味や仕組みが説明できるようにさせる)等を継続して指導してまいります。また、家庭とも連携して、同様の課題に家庭学習でも取り組むようにします。

〈生活アンケート〉

児童質問紙によると、「自分にはよいところがある」と回答した児童が少なく、自分を肯定的に捉えていない児童が多いことが分かりました。子供のよさを見付ける、褒める、認める、励ます、可能性を広げるなど、一人一人のよさを生かし、子供自身が自分を価値ある存在として認められるよう、発達の特徴を踏まえた指導をしてまいります。

また、家庭学習では、自分で計画を立てたり十分な学習時間を確保したりできていないという現状もあるようです。長時間のゲームやテレビ視聴がその一因のようですので、PTAが掲げるスローガン「早寝、早起き、朝ご飯」の取組実践をお願いするとともに、「家庭学習の手引き」を参考に「学年に応じた学習時間の確保」に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。